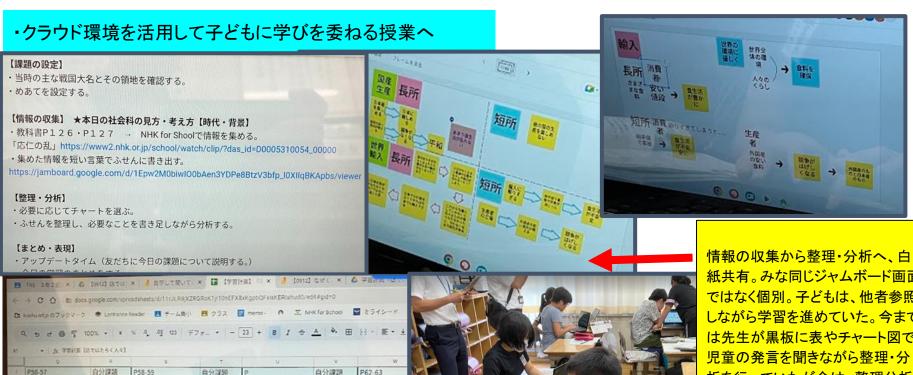
## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

甲州市立塩山南小学校

## 【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びによる学習者主体の授業へ②



ロスーパーマー

ト以外のお店に

て調べよう。

1時間の計画

か題のせってい

スーパーマーケ んな工夫をして

じょうほうのし

教科書p62-63

スライド

今までに学習した図形から面積を求め、図形を使っての足し算引き算をすることで難しい図形の面積も求められる。

住売り上げをさらに

高めるくふうを考え

1時間の計画(どの課題から、どん

オギノをもっとよりよいお店にする

な方法で学習するか など)

にはどうすればいいかな?

じょうほうのしゅうしゅう

グループで意見を出し合おう。

よう。

何なぜスーパーマー

ケットはこんなにも

たくさんのくふうを

1時間の計画(どの課題から、どんな方法で学習するか など)

じょうほうのしゅうしゅう

お家の人からのインタビュー

しているのだろう。

か鋭のせってい

いるのかな?

店の商品はどこからきているのだろ なぜこんなにもたくさんくふうして

ちらしやスライドの写真から産地を 教科書P58-59

多店におかれている

商品はどこからきて

1時間の計画(どの課題から、どん

な方法で学習するか など)

じょうほうのしゅうしゅう

いるのだろう。

か逆のせってい

紙共有。みな同じジャムボード画面ではなく個別。子どもは、他者参照しながら学習を進めていた。今までは先生が黒板に表やチャート図で児童の発言を聞きながら整理・分析を行っていたが今は、整理分析も子どもに委ねている。塩山南小の高学年は、爆速5分で20枚付箋をめざした情報収集をし、整理・分析を行っている。学習形態も自己選択することで学びへの意欲が増してきた。考えの共有をChatで活用するようになり、校務から授業へと先生方のChat活用の変容が見ら

れた。